

No.2025

9月11日例会	プログラム	「ネットスーパーの現状」	上原 健嗣君
9月18日例会	プログラム	「イニシエーションスピーチ」	岸 啓二君
9月11日のメニュー	・鮭のゆず味噌焼き・牛肉のサイコロステーキ・ナスの揚げびたし・山菜ごはん・きつねうどん・コーヒー		

前回（9月4日）例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	25名	欠席者数	8名	出席率	75.76%	前回補正率	81.82%
	前回補正者	松尾君 三宅(孝)君 大西君 谷口君 安江君								
	欠席者	井上君 岸君 三谷君 三宅(孝)君 仲田君 小野君 安江君 山田(次)君								

来 訪 者 星野 要二様（㈱天満屋ストア玉野店 新店長）

会 長 挨 拶

皆様、ようこそお出でくださいました。本日の来訪者をご紹介します。この度、岡店長がご転勤になりまして、新店長になられます星野要二様でございます。岡店長と星野様には後程お話を頂きます。

さて、先日の選挙の結果、民主党に政権交代することで、幅広く政策全般が見直しされることになりそうです。その中で、税制に関してですが、今言われていることとして、(1)所得税に関して①配偶者控除、扶養控除の廃止を含めた見直し(増税)、②公的年金控除の最低控除額の引上げ(減税)、③老年者控除 50 万円の復活(減税)、(2)法人税に関して法人税率の引下げ 18% 11%(減税)、(3)消費税は 4 年間据置き、(4)その他として①ガソリン税等の暫定税率廃止(減税)、②自動車取得税の廃止、③租税特別措置法の廃止又は恒久化、等があります。あくまで現時点での話で、具体的には次年度予算の策定過程の中で議論され明らかにされてくると思います。

退会・入会予定者挨拶

- ・岡 眞司 様 ㈱天満屋ストア玉野店 前店長

この度の人事異動で総社の方へ転勤を急に命じられまして交代することになりました。1年半の短い間でしたが、親睦委員として皆様方と一緒に楽しんでこられたことが大変印象に残っています。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。お礼を申し上げます。

- ・星野 要二 様 ㈱天満屋ストア玉野店 新店長

皆様初めまして、星野と申します。生まれも育ちも岡山ですが、現在は高松に住んでおりまして、玉野店に来る前は高松太田店で 3 年間店長をさせて頂いておりました。とくに、玉野は私にとりまして思い出の深い地でありまして、今から 20 年前位に旧玉野店で衣料品を担当させて頂きました。その頃、いろんな所に遊びに連れて頂いたとか、玉野の方といろいろと交流をさせて頂いて、私の会社人生の中で最も気に入った町が玉野でございます。そこで店長として帰ってこられたことを大変嬉しく思っております。今後ともよろしくお願い致します。

会 長 報 告

- ・ 本日例会後、理事役員会を開催します。理事・役員の方は出席お願い致します。

幹 事 報 告

- ・ 葛尾ガバナー事務所より①台湾台風災害義援金、②兵庫県西北部豪雨災害義援金、③美作地方竜巻被害、豪雨水害義援金への協力のお願いが届いております。
- ・ 葛尾ガバナー事務所より地区大会信任状が届いております。
- ・ ローターワールドが届いております。
- ・ RI 認証ロータリー囲碁同好会より「第 8 回ロータリー全国囲碁大会」開催のお知らせが届いております。

- ・ 藤田ガバナー補佐、東川会長、松尾会員より米山功労者への寄付申込みを頂きました。ご協力ありがとうございます。
- ・ 玉野市交通安全対策協議会より玉野交通安全推進大会の開催についてご案内が届いております。
- ・ 他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

第3回定例理事役員会議事録 9月4日

- ・ 葛尾ガバナー事務所よりの以下の義援金についてのお願いの件 募金箱を廻して@2,000程度お願いする。
 - ①美作地方竜巻被害・豪雨水害義援金：会員一人当たり 1,000円
 - ②兵庫県西北部豪雨水害義援金：金額は任意
 - ③台湾台風災害義援金：会員一人当たり 100円程度
- ・ 平成21年度親善少年硬式野球大会への支援のお願いの件 以下の通り承認。
本件は今年3月の理事役員会において支援することは決定済みで、金額50,000円を新世代活動委員会より支出する。(大会日時：平成21年12月6日(日) 場所：玉野市民球場)
- ・ 親睦家族委員会より秋の親睦家族旅行開催について 原案通り承認。

委員会報告

- ・ インターネット・雑誌・広報委員会(渡邊委員長)：「ロータリーの友」2009年9月号のご紹介
 - ①ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識(横組み：P26&27)
 - ②自然と人―戦後文明の中で何を失ったか―(縦組み：P2～P6)
 - ③表紙のメッセージ(蛸舞式神事)(縦組み：P31)
- ・ 親睦家族委員会(岡委員長)：<誕生日祝> 近藤君4日、大西君7日、東川君22日、石川君23日、安江君24日、井上君25日。
- ・ ハイロー会(谷口ハイロー会幹事)：①9月20日開催の第168回ハイロー会では参加料のみ徴収させていただきます。②玉野ライオンズクラブよりチャリティーゴルフコンペのご案内が届いております。10月12日開催の予定ですが、当クラブのミニハイロー会と同日になっております。ミニハイロー会を優先させて頂ければと思いますが、チャリティーゴルフコンペへの参加をご希望される方は私から申込みが出来ることになっておりますので私へご連絡願います。後程、回覧をさせていただきますのでご覧ください。

スマイル・ボックス

- ・ 岡君―大変お世話になりました。楽しく過ごさせて頂きました。
- ・ 東川君―①岡店長いろいろお世話になりました。ライオンズでも頑張ってください。②夏休み家族例会では多数のご参加ありがとうございました。親睦委員会の皆様お疲れ様でした。③誕生日。
- ・ 松尾君―①岡様、大変お世話になりました。星野要二様、ご入会歓迎します。②欠席3回しました。近藤さんにお世話になりました。
- ・ 小野田君―岡様、お世話になりました。
- ・ 島田君―①岡さん、またお会いしましょう。②家族夜間例会、大変お世話になりました。
- ・ 谷口君―岡店長、いろいろとお世話になりありがとうございました、たまには玉野にもきてください。また、星野様よろしく願いいたします。
- ・ 渡邊君―岡さん、長い間ありがとうございました。
- ・ 石川君―①富永さんに有馬のオーナー会員になって頂きました。ありがとうございます。②誕生日
- ・ 藤田君―9月1日防災の日、RSK山陽放送の生放送に10分間程出演しました。
- ・ 三宅(一)君―本日卓話。日頃の遅刻のお詫び。
- ・ 高橋(秀)君―夏休み家族例会で宝くじが当たりました。ありがとうございました。
- ・ 大西君―①誕生日。②手術の為、早退します。
- ・ 近藤君―誕生日。 ・ 上原君―前回欠席。 ・ 槌田君―先々週欠席。 ・ 三宅(照)君―早退します。

プログラム 「新世代のための月間に因んで」 新世代活動委員会 三宅 一昌委員長

9月は新世代のための月間です。1996-97年度から従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人全てを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に焦点を当てる月間です。各クラブは新世代の基本的ニーズ、即ち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。ところで、1997-98年度時のRI会長L.V.ジアイさんが「青少年奉仕」を「新世代のためのロータリープログラム」に変更した目的を2つあると述べております。1つは新世代を育てるためには子供がお母さんの胎内にある時から関心を持つべきこと、もう1つは新世代を対象とするロータリーのプログラムは絶えずお互いに連携プレイをしなければいけないと述べています。我々ロータリアンはこの月間中にロータリーの提唱する全ての青少年活動に関心を持って頂きたいと思っております。新世代奉仕は幼児

義務教育からインターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラム、ライラ研修と多岐に亘っています。ポール・ハリスは「ロータリアンは地域社会の指導者として青少年の模範でなければなりませんし、しかし、またロータリアン自身、少年の心を失ってはならないのです」と著書「わがロータリーへの道」で述べています。ポール・ハリスはニューイングランドよりシカゴに出て弁護士をするのですが、大きな孤立感に悩まされ、“友達”の重要性に気付き、3人の仲間とロータリークラブを創りました。ロータリーの原点はここにあり、このための1つの方法として「彼」の気持ちの中に少年時代の心を残すことです。少年時代の人生をみる目は素晴らしいもので、清らかな眼で偏見はなく、寛容で熱意と友情に溢れています。「ロータリーは少年の心を忘れずに発展向上を目指す団体です」と書き綴られています。

具体的に活動について述べます。RIの青少年に関するプログラムは5つあります。インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、青少年指導者養成プログラム、ロータリー財団です。

インターアクトは14～18歳の青少年または高校生を対象としたもので、2つの奉仕プロジェクトがあります。1つは学校または地域社会に奉仕するプロジェクト、もう1つは国際理解を推進するプロジェクトです。これらを通じて青少年の積極性や指導力を開発し、永続する友情を養います。ロータリークラブは奉仕のパートナーを得られるだけでなく、青少年の地域社会の将来を担う指導者を育成する機会にも恵まれます。インターアクトは1962年に創設され、international action(国際的活動)を意味し、社会奉仕プログラムの協同奉仕部門に属します。

ローターアクトは18～30歳(厳密には30歳になった後の6月30日まで)の若年成人を対象に奉仕を志向する市民育成とリーダーシップ、職業的専門能力を開発することを目的とした組織で、地域社会を基盤とするものと大学を基盤とする2種類があり、Rotary Actionからとった言葉です。日本では1968年に川越RCの提唱で埼玉県の国際商科大学ロータリーアクトクラブが最初のように。目的は個々の能力の開発にあたり役立つ知識や技術を高め、それぞれの地域社会における物質的或いは社会的ニーズを取り込み「親睦と奉仕活動を通じて」信頼関係を推進することで、ローターアクトは奉仕を通しての親睦、fellowship through service という標語を中心に展開しています。諸外国、とくに南米ではローターアクトからロータリアンになる比率が高いそうです。未来のロータリアンの養成にもなる訳です。因みに、アクトの「ク」と「ト」に因んで9月10日は「アクトの日」としています。「アクトの日」が平日の場合はその日に近い日曜日に移動して行います。活動開始時刻は9時10分だそうです。

ロータリー青少年交換は1週間から1年、文化交流のため15～19歳の高校生を対象とした派遣と受け入れです。玉野高校に国際学科のあった頃は、当クラブでも多くの留学生の受け入れと玉野高校生の派遣をしていました。

次に青少年指導者育成プログラム、ライラ(RYLA)です。RYLAは14～30歳までの青少年、若者の指導を進めるための研修です。

最後にロータリー財団ですが、人道的教育的プログラムとして国際親善、奨学金、ロータリー世界平和フェローシップ、研究グループ交換(GSE)、これは少し前に韓国のロータリークラブが玉野にも来られました。日本独自のものとしては米山奨学活動があります。ロータリーの場合はローターアクト、米山奨学、GSEなどリーダーを育てるプログラムが多く、リーダーを育てることが多数の若者を導くという考え、また次世代ロータリアンを育てるという考え方のようです。

今まで述べてきましたが、新世代活動に関する内容は多岐に亘り、他の多くの委員会とも関係しておりますので、各委員会と協力して活動していきたいと考えています。求められる青少年育成についてですが、今、青少年問題としてニート、非行、不登校、いじめなど、新しいものでは芸能界を巻き込んだ覚醒剤問題など様々なことがあります。インターネットなどで他クラブの意見をみると、青少年育成の基本は「教育」と「家庭」の問題について述べているものが多いようです。教育では今直面している色々な問題は、すぐキレてしまう、他人の痛みを自分の痛みと思わない人達が起こしており、子供達の教育は勿論、我々大人も自分を正すことが必要だと思います。「家庭」は教育の出発点と言われます。家庭の中の躾教育などによる人間形成は個人の躾などは家庭がベースですが、併せて地域社会、ロータリークラブが青少年とどう関われるのか、青少年を見守り、支え、応援しているロータリークラブとしての取組が求められております。「教育が人をつくり、人は町をつくり、町は人を育て、その町が固有の文化を生み、文化を育てる」とよく言われます。青少年の育成のために、ロータリアンの出来ることは沢山あるようです。今月は皆様も新世代、青少年の育成のことを考える月間としてください。

